

将来の住まいと権利擁護に関する調査結果について(報告)

調査方法

1. 調査対象者

市内通所施設に通っている障害者及びそのご家族今回21施設、計384名の方のご協力を得た。

2. 調査時期

平成22年3月～同年4月まで

3. 調査方法

質問用紙によるアンケート調査を採用。調査は、アンケート調査実施の承諾を頂いた団体等の代表者を通じ、本人及び家族に配布した。また、回答については必要に応じて、団体の職員と本人や家族が相談しながら行った。回収は各団体にて行った。

4. 調査内容

質問は以下の通りである

ご本人について

問1 性別

問2 年代

ご本人が望む暮らしについて

以下本人、家族の両方より聞き取り

問3 希望する日中活動の場

希望する居住の場

入所施設グループホーム等入居について

以下本人、家族の両方より聞き取り

問4 - 1 グループホーム・ケアホームに希望の方に聞く、入居はどのような時期か

問4 - 2 希望する時期は何時頃か

(家族、支援者の意見を記入、支援者は家族の意見と不一致の場合記入)

問5 - 1 入所施設希望者にどのような時期に希望するか

問5 - 2 入所施設入所希望時期は何時ごろか

(家族、支援者の意見を記入、支援者は家族の意見と不一致の場合記入)

問6 グループホーム等に希望した方、希望理由と不安要因

問7 入所施設希望した方、希望理由と不安要因

問8 一人暮らし、家族と生活に希望した方、希望理由と不安要因

問9 ホームの生活の体験希望の有無

問10 ホームの情報を知りたいか

問11 入所施設やホーム等の意見記入

権利擁護について

問12 現在親以外に本人の資産管理や身元引き受けを引き受けてくれる方はいるかどうか

問13 いる場合その方との関係

問14 いない場合の今後頼めそうな方が居るかどうか

問15 成年後見制度について

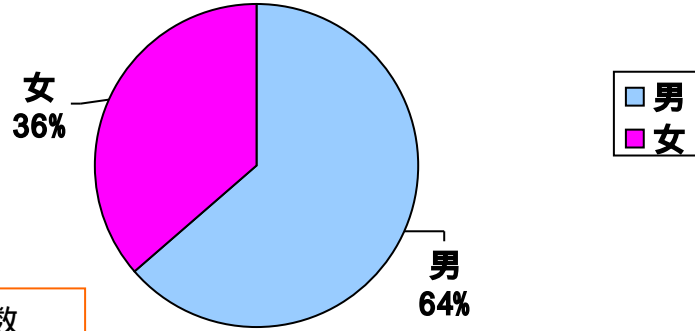
問16 成年後見制度利用するつもりがない理由

以上アンケートの質問事項は合計18問である。回答は主に選択肢を用いたが、その他記入欄や意見記入欄も設け、当事者の意見をできるだけ抽出できるようにした。最後に本アンケートに関する自由記述の解答欄も設置した。

5. 調査結果

問1

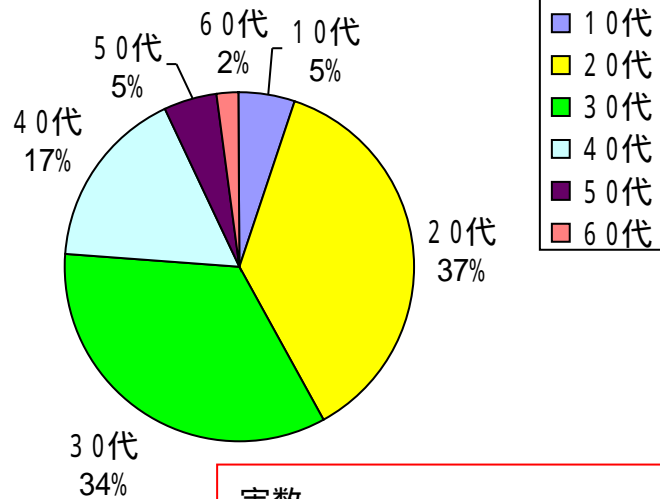
男女比



実数
男 244人
女 140人

問2

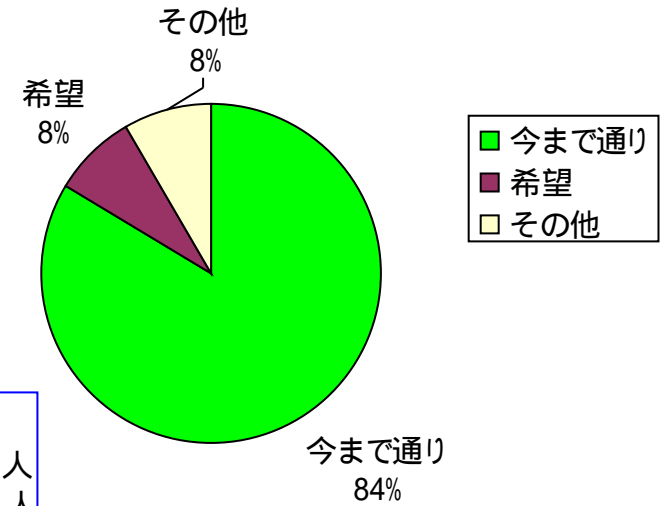
年齢構成



実数
10代 20人 20代 141人
30代 131人 40代 65人
50代 20人 60代 7人

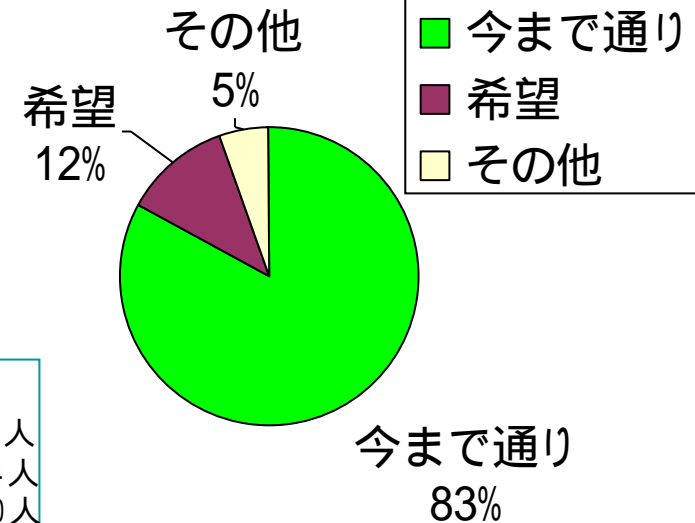
問3

日中活動の場(本人)



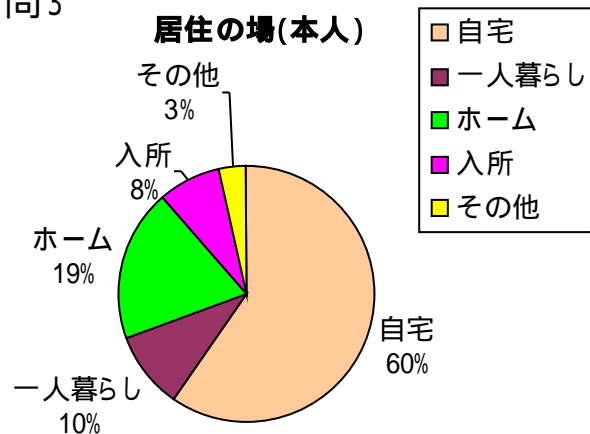
実数
今まで通り 163人
希望に応じて 16人
その他 16人

日中活動の場(家族)



実数
今まで通り 315人
希望に応じて 44人
その他 20人

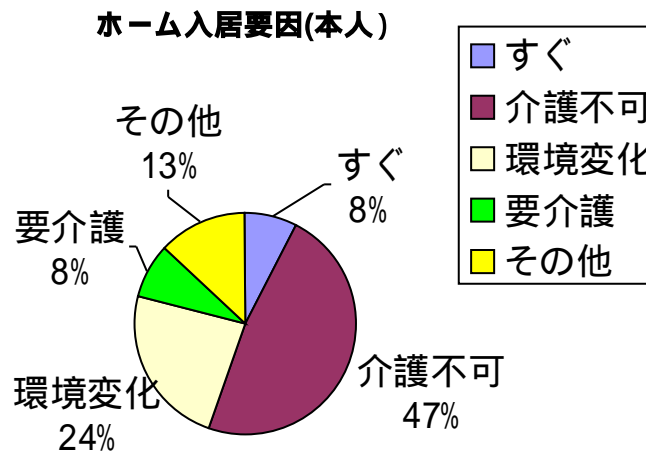
問3



実数

自宅	104人	一人暮らし	17人
ホーム	34人	入所施設	14人
その他	6人		

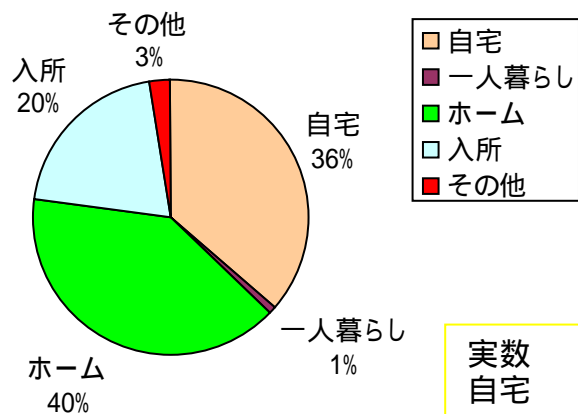
問4 - 1



実数

すぐに	3人	介護人が不可	18人
環境変化	9人	要介護状態	3人
その他	5人		

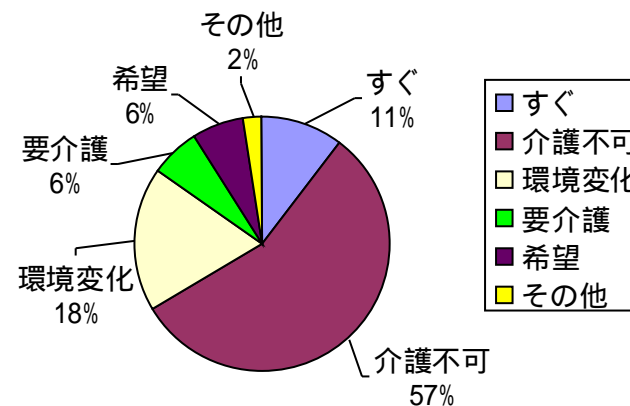
居住の場(家族)



実数

自宅	144人	一人暮らし	4人
ホーム	158人	入所施設	81人
その他	10人		

ホーム入居要因(家族)

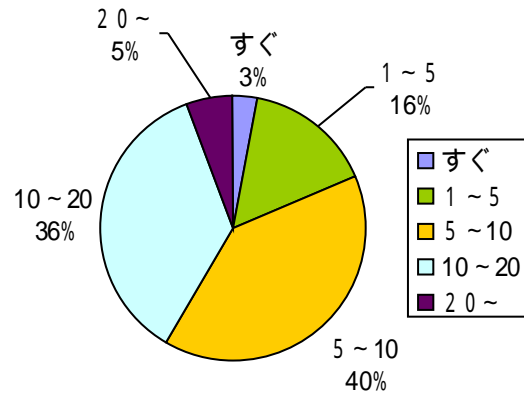


実数

すぐに	18人	介護人が不可	95人
環境変化	31人	要介護状態	11人
本人が希望	11人	その他	4人

問4 - 2

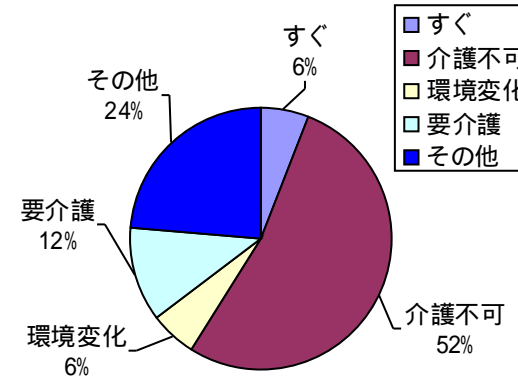
ホーム入居時期(家族)



実数			
すぐに	5人	1~5年後	26人
5~10年	66人	10~20年	60人
20年~	9人		

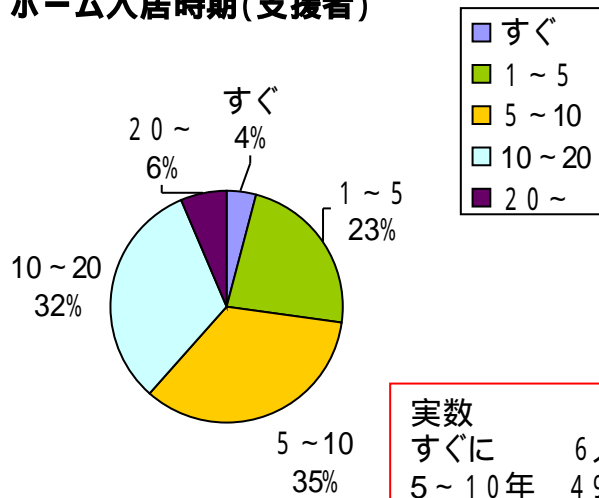
問5 - 1

入所施設入所要因(本人)



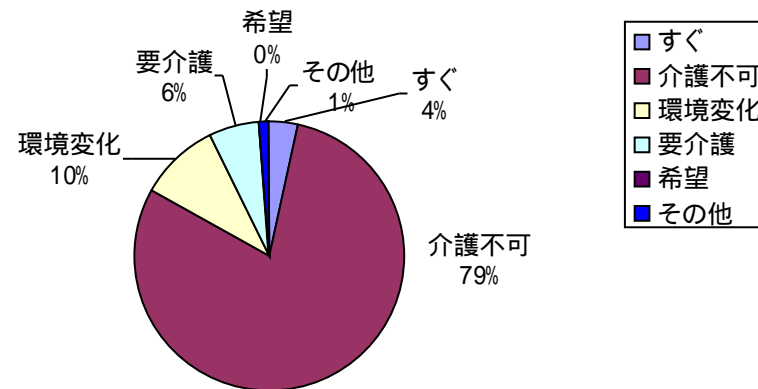
実数			
すぐに	1人	介護人が不可	9人
環境変化	1人	要介護状態	2人
その他	4人		

ホーム入居時期(支援者)



実数			
すぐに	6人	1~5年後	33人
5~10年	49人	10~20年	46人
20年~	9人		

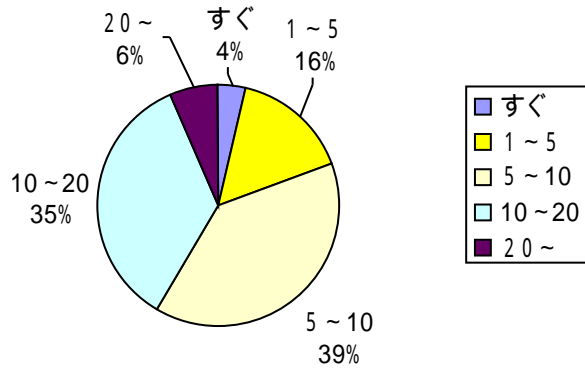
入所施設入所希望要因(家族)



実数			
すぐに	3人	介護人が不可	65人
環境変化	8人	要介護状態	5人
その他	1人		

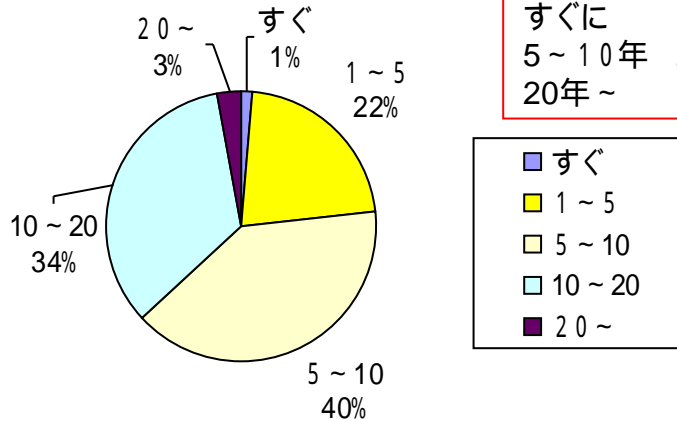
問5 - 2

入所施設入所時期(家族)



実数			
すぐに	3人	1~5年後	12人
5~10年	30人	10~20年	27人
20年~	5人		

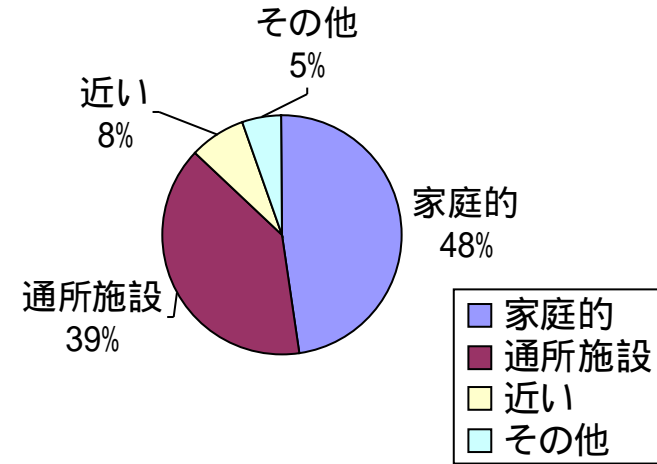
入所施設入所時期(支援者)



実数			
すぐに	1人	1~5年後	16人
5~10年	29人	10~20年	25人
20年~	2人		

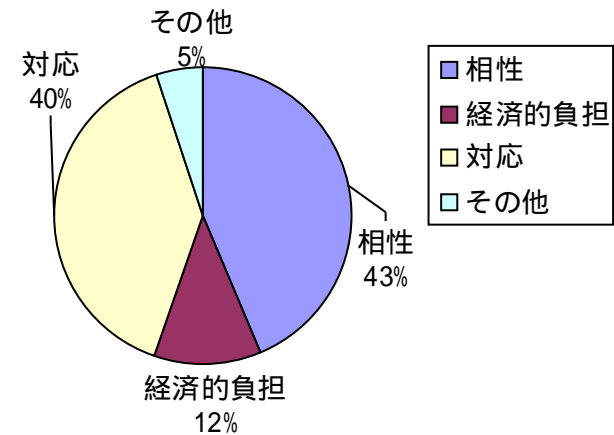
問6

ホーム希望理由



実数	
家庭的	72人
今の事業所に通える	60人
自宅、事業所に近い	12人
その他	8人

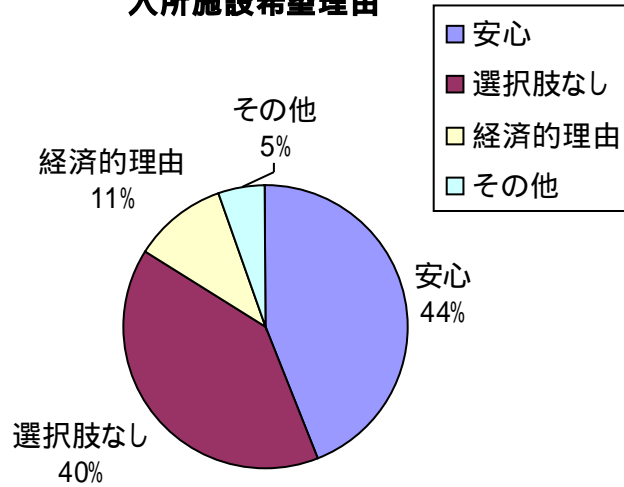
ホームへの不安



実数	
相性	79人
経済的負担	21人
対応	72人
その他	9人

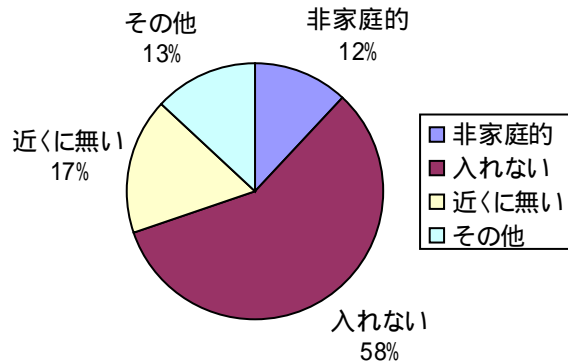
問7

入所施設希望理由



実数
 安心 33人 他に選択肢が無い 30人
 経済的理由 8人 その他 4人

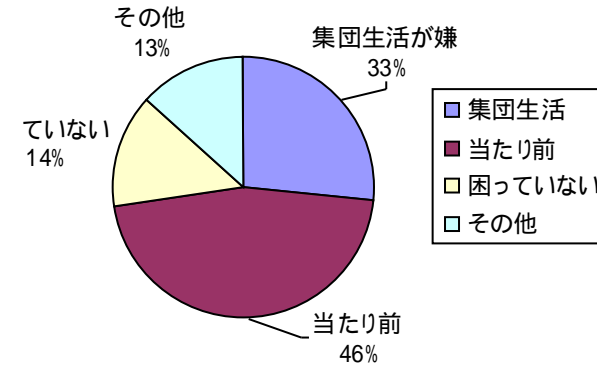
入所施設不安理由



実数
 非家庭的 9人 いざというときに入れない 44人
 近くに無い 13人 その他 10人

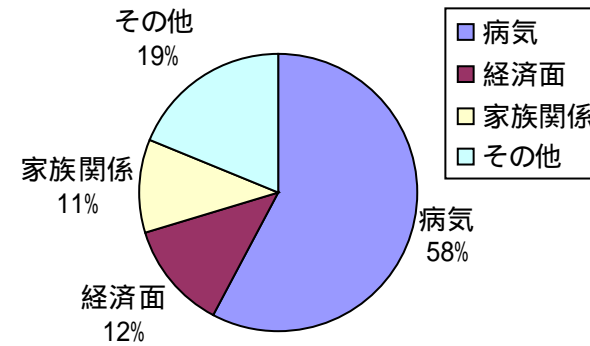
問8

一人暮らし家族との生活希望理由



実数
 集団生活はしたくない 30人 当たり前 52人
 困っていない 16人 その他 15人

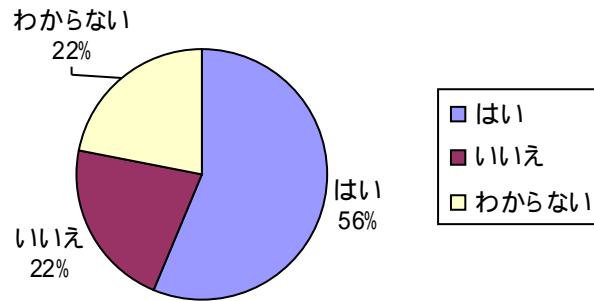
一人暮らし家族との生活の不安



実数
 病気 70人 経済面 15人
 家族関係 13人 その他 23人

問9

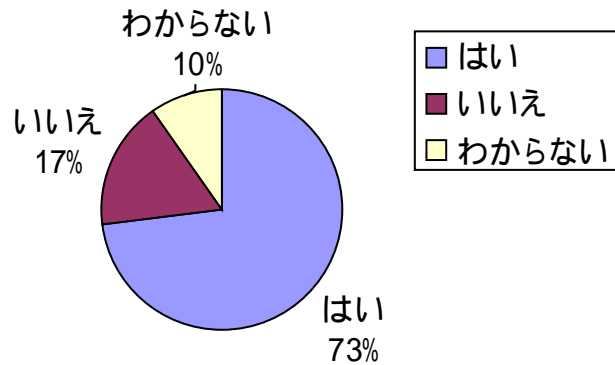
ホームを体験させたいか



実数
 はい 191人 いいえ 73人
 わからない 74人

問10

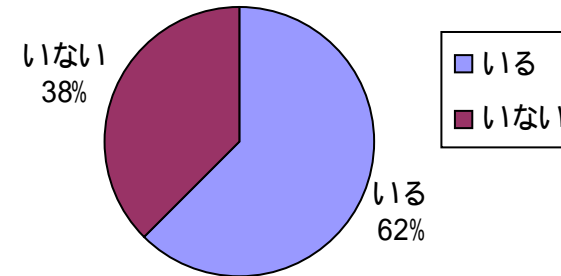
ホームの情報を知りたいか



実数
 はい 248人 いいえ 58人
 わからない 33人

問12

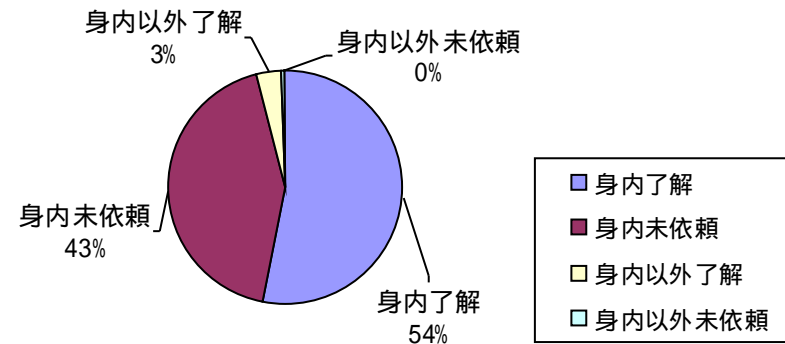
身元引受人の有無



実数
 いる 234人 いない 141人

問13

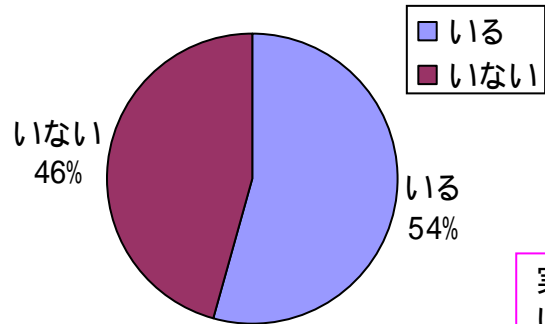
身元引受人内訳



実数
 身内了解 126人 身内未依頼 103人 身内以外了解 8人
 身内以外未依頼 1人

問14

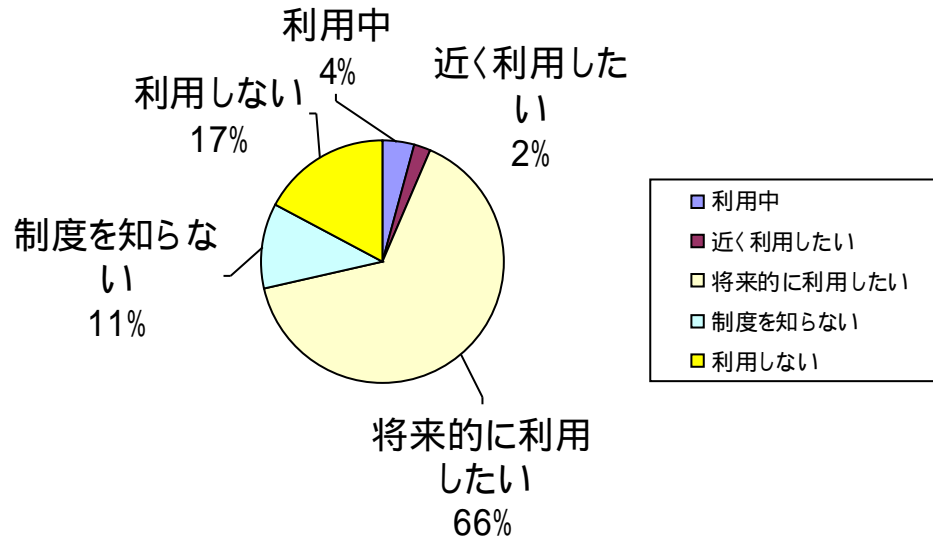
今後頼める人が



実数
いる 124名 いない 104名

問15

成年後見制度について



実数
利用中 15名 近く利用したい8名 将来的に利用したい 233名
制度自体知らない 41名 利用しない 62名

その他欄

問3

・日中活動の場

本人

・親が元気なうちは今まで通り ・親がどうにかなれば介護 ・なれた施設は変えたくない
・人間関係を築くのが面倒

家族

・本人に新たなプレッシャーを掛けたくないし、安心して送り出せる現状を変えたくない ・特色ある事業所があれば一度変えたいと思う ・父親の帰郷の時期を見て考える ・他を知らないから判らない ・親が元気なうちは今まで通りを希望 ・長期療養型の施設
・就職 ・職員のアドバイスがほしい ・本人のレベルにあった事業所 ・企業作業所 ・現時点ではわからない ・介護できなくなれば
入所施設 ・ホームを経験させたい 本人にとってどうしたらよいかどこの場所へ行くことが良いかわからない ・将来は親亡き後兄弟
への負担が大きいので公立施設に移したい

問3

・居住活動の場

本人

・わからない、考え付かない ・何時までも親と住みたい(家族談) ・自立してみたいが不安 ・姉とは住みたくない ・既にホームで
生活している ・本人は理解していない(家族談) ・

家族

家で暮しながら時々入所利用 ・視力喘息などの問題で入所施設は難しい ・入所は遠いので本当はGHなどがいい ・体調に問題
あり医師常駐か往診可の所 ・見学してから決めたい ・市内南側にもホームを ・今は入所・ケアホーム両方希望 ・今はホーム、
将来的には入所 ・入所しか受け入れてもらえなさそう ・経済的に自立すればGH ・入院 ・一人暮らしをさせたいが身辺自立が不
安 ・親と同居しながら一人暮らしの訓練をさせ、将来はヘルパー支援のもと一人暮らし ・自分の部屋が好きなので家で生活させ
たい ・24時間サポートで一人暮らし ・現実には入所、オリーブさんのような雰囲気がいい

問4 - 1

本人

・分からない ・現在ホームに入居している ・わからない

家族

支援者の状況によりGHも考えたい ・一般数労できたら ・介護者が介護できなくなる前に ・本人と話し合いで決めたい ・片親に
なったとき

問5 - 1

本人

・一人になってしまったとき ・わからない

家族

親が亡くなった後 ・最終的には入所 ・本人が一人になってしまったとき

問6

希望理由

・友達を作りたい ・なれたところで暮したい ・入所施設はもう無いから ・身内の高齢化 ・自立 ・オリーブさんのような雰囲気なら将来的に不安面がなくなることを思って希望 ・家庭的なので本人もリラックスできる

不安なこと

・特になし ・本人の気持ち ・ホームからの単独通所できない ・本人のこだわりを理解して対応してくれるか ・財産管理 行政関係の手続き ・近くにホームが無い ・実際がわからない ・持病が心配 ・現在の状況ではいれるか ・世話人の質(あたりはずれが大きい)

問7

希望理由

他がわからなかった ・兄弟の負担を少なくしたい ・本人の性格的なことを考慮して ・もう決めていてそれが一番良い ・複数の目があり安心な面もあるが細部の対応が雑になりそう。現状ではソフト面の充実が魅力

不安理由

本人の気持ち ・本人がなじめるか ・本人のことをどれだけ理解してもらえるか ・夜中に勝手に出て行ってしまう。 ・慣れるのに時間がかかる ・考えないようにしている ・QOLの低下が心配

問8

希望理由

兄弟と一緒に暮させたい ・自立して一人暮らしをしてみたい ・親が子供を頼りにしている ・集団生活に向かない ・自立したい ・お互いに必要としている ・一人暮らしがしたい ・自由に外出したい ・子が短命と言われているので一緒に暮したい ・母が心配 ・みんなと生活したくない ・家の生活に満足 ・このままがいい ・集団生活に向かない ・犬がいるから ・施設は経験している ・先のことはわからない ・自宅をホームに利用してもらう ・

不安理由

体調が悪いときに訴えることができない ・集団生活はいいとは思わないが頼らざるをえない ・安全面(火の元) ・食事のこと ・祖父の認知症 ・本人が怒りっぽい ・無い 親亡き後 ・どうしたらいいかわからないので話していない ・一人になってしまったとき ・親と同じ支援は兄弟はできないといっている。ヘルパーの利用で住み慣れた家で過ごせればと思う ・発作が心配 ・先のことはわからない

問11

・いざという時に入所できても遠くでは不安 ・現在通所しているところが入所やホームを持つのが理想 ・入所施設を作ってほしい ・希望するときに希望ところに入りたい ・体験するのに必要な情報がほしい ・兄弟に負担がかからない為にも入所は必要 ・個人だと不安なので、希望者を募って施設見学の機会があればいい。 ・子どものことをわかってくれる人がいるか心配。 ・家族がいるうちは現状で、いなくなったら入所かGHを考えています。 ・施設やグループホームへの入居前に体験(ショートステイ)など10日間～一ヶ月させて頂きたい。 ・人間関係が不安 ・障害者だけでなく高齢者も同居できる施設があれば望ましい ・木のぬくもりがあるホームであって欲しい ・親がいる限り、一緒に家で暮らしたい。 ・グループホームの充実化(数が増えてほしい)その中で本人に合ったホームを選んでいきたい。 ・重度の子と軽い子がまざっているより、重度の子同士で見てもらった方が親としては楽。 ・現在ホームに入居中。今は親が休日など一緒に過ごしているが、将来的にはホームで過ごせるようにさせたい。 ・親も一緒に入れるホームがあったらいいのと思う。入所施設の情報も知りたい。市内のグループホーム情報を知りたい。 ・出来るだけ早くグループホームを作ってほしい。 ・防災面の管理体制をしっかり行って欲しい。 ・親が元気だから考えられない。 ・世話人の資質向上してほしい、経験者を増やす。 ・グループホームの受け入れる姿勢があるのか。 ・グループホームの現状を知りたい。 ・グループホームを今以上に作ってほしい。 ・グループホームに入る為の条件は？世話人さんが変わる事への不安がある。 ・本人ペースの生活が可能か？ ・市川市内にたくさんGHを作ってほしい。 ・GHの資源を知りたい ・一人っ子なのでGHから帰省できないが対応してくれるのか？ ・どのような生活をしているのか知りたい。 ・重度の人の介護者が不足しているので重度の子をお願いするのは不安がある ・見学の希望はある ・近場で希望したときに入りたい ・本人の出来ない部分の手助けまでやって頂けるかどうか。 ・もし、5～10年後位に世話人としてグループホーム等に携わってみたい気が心の隅にある ・GHを見学してみたい ・GHを作ることに参画したい ・行政はどれくらい関与しているか ・本人の生活の場を作って安心したい ・システムを知りたい ・どこで情報がもらえるかわからない ・希望したら入れるのか ・必要経費は？ ・よほどの事情が無い限り体験できる余裕(キャパ)は無いのでは。 ・入所施設の手続きもおぼつきかねる ・体験の場がほしい ・本人に必要な支援をしてほしい ・有料老人ホームのように見学、部屋も選べるホームがいい ・地域に作ってほしい ・ケアホームの情報がほしい ・兄と一緒に施設がいい ・近い入所がいい ・夜間の管理が不安(ホーム) ・体験できる場所があればいい ・夜間に抜けて帰宅してしまう。 ・いろいろ経験させたい ・通っている施設にホームがあれば ・近くに入所施設があれば ・入所に入ったら引っ越す ・入所施設は本人を人間らしく扱ってほしい ・遠くても交通の便がよければいい ・費用はどれくらい ・家族に何かあったらすぐに対応してくれるか ・老人施設を使えるといい(近い、送迎) ・ホーム体験をしたい(1ヶ月位) ・ショートステイの経験を積み重ね、なんとかやれると思えるようになった。ホームの経験が無いので未知数である。

ご意見ご希望

○住まいの場について

緊急時の対応の為市内に短期入所の場を ・体験ホームを利用し、本人親ともスムーズな移行を ・ ・365日体制のホームが必要 ・ホームではどこまで親が協力していいか不明 ・自宅をホームへと考えている ・入所は安心であるが本人のことを考えるとホームがいい ・本人はもうショートも行きたくないといっています現実には難しいと思う ・自立して結婚したい ・健康管理が不安 ・仕事をたくさんして給料を稼ぎたい ・健康で生活できればありがたい ・現在の施設で元気に生活させたい ・近くに入所施設を作してほしい ・入所希望であるが迷っている ・今後の動向次第でホームの考える ・入所は全般的に安心

○権利擁護関係

成年後見制度は料金が高いので社協などでやってほしい ・後見人は最初は親、その後は第三者が担うのがいい ・法人後見を行ってくれることを望む ・複数後見を考えている ・自分(母)が死んだ後のことは考えない ・第三者後見を検討している ・後見制度は善し悪しがわからない 制度がわからない ・考えられない ・他の兄弟に負担を掛けたくない ・悩みもあるが自然に任せられている ・将来はどうしたらいいかわからない ・考えたくない ・後見制度は利用したいが金銭的負担が心配 ・成年後見が何故必要かわからない ・選挙権がなくなるのが残念。 ・相続と後見制度の関係を知りたい。

アンケート関係

このような調査がどうしても必要なのかわかりません。毎年同じことを聞かれます。その後実行してくれてるのでしょうか ・

○その他

・成年後見、入所施設、ホームのことなど通っている施設で勉強会をしてもらいたい

6 考察

< 調査を実施した背景 >

- ・市川市において、特別支援学校卒業後の進路対策は行政、教育現場、親の会、事業者からなる「進路検討委員会」を毎年開催し、長年その成果を上げてきている。また、入所施設については、行政として「入所待機者リスト」を作成し、入所へのニーズ把握をしていると伺っている。
- ・ところが、「暮らしの場」についてはどうだろうか。「ホーム」拡充を望む声は、あらゆるところで叫ばれてきたものの、具体的なニーズ調査は実施されていないのが現状であった。数年前に親の会が独自でニーズ調査を実施したことはあったが、調査対象者や回収率の面で、どこまで実態を把握できたかは疑問であった。
- ・これまで、「ホームを拡充していくためには、どうしたらよいのだろうか。」という話し合いは様々な場で行われてきたと思う。例えば、住居、マンパワー（宿泊勤務、食事作り、代替要員等）、バックアップ体制、日中活動、相談支援（連絡調整機関）等々、数え上げたらきりがなかった。
- ・私たちは、この調査を機会に、「ホームをいつごろまでに必要としているのか」「緊急性がある方がどれくらいいるのか」など、ホームのニーズにきちんと向き合い、拡充に向けての第一歩にしたいと考えた。

< 調査結果の分析 >

- ・今回の調査については、日中活動に通う知的障害者という限定的な調査ではあったが、日中活動事業所の個別面談を通して、丁寧な聞き取りをしたことに意義がある。一口で「ホーム」と言っても、個々の認識は様々であり、支援者から丁寧な説明をして頂き、より正確な実態を把握することができたのではないだろうか。
- ・今回配信させていただいたデータについては、全体としての集計結果のみであるが、「日中活動連絡会」においては、更に次のような点に注目し「公立」「民間」事業所の比較も試みた。
「ホーム」は、民間事業所によって、これまで設置運営されていることもあり、「ホーム」が比較的身近な「民間」と「ホーム」の敷居を高く感じている「公立」とでは、何らかの意識の違いがあるのではないか。
これまで、「ホーム」は設置法人の通所先の利用者が利用することが多かったが、「公立」事業所にも緊急性があり「ホーム」を利用したいと望む人がいるのではないか。

以下、調査項目ごとの「公立」「民間」事業所の比較と考察である。

(問1)性別

- ・「公立」「民間」とともにほぼ同じ割合で、男性が6割強、女性が4割弱となった。

(問2)年代

- ・「公立」は、30代までが63%、40代以降が37%に達し、「民間」は、30代までが88%を占め、40代以降は、12%だった。
「民間」に比べて、「公立」は、特に40代が26%と高く、親世代が、70代になっている率が民間より高いと思われた。

(問3)日中活動の場(本人)(家族)

- ・日中活動の場は、「公立」「民間」共に、将来も現在の通所先を利用したいと考えているものが多かった。

問3)居住の場(本人)

・全体として「自宅を望む」が実数104人で60%（「公立」68%、「民間」51%）

今後、本人の望むことを考えるなら、ホーム拡充と並行して自宅生活を続けられるための居宅サービスの拡充が必要と考える。

・「ホームを望む」が実数34人で19%（「公立」14%、「民間」24%）

(問3)居住の場(家族)

・「ホームを望む」が実数158人で40%（「公立」23%、「民間」55%）

「公立」の倍以上の率で、「民間」には「ホーム」を望むニーズがあることが伺える。家族が高齢であることや身近にホーム利用者がいないなどが理由として考えられる。

・「自宅を望む」が実数144人で36%（「公立」44%、「民間」30%）

・「入所を望む」が実数81人で20%（「公立」30%、「民間」11%）

「公立」は、「民間」の約3倍の率で、入所を望む声があることが分かった。

(問4 - 1)ホームの利用要因

(本人)全体で実数38人の回答

(家族)全体で実数152人の回答

・ホーム入居要因は、圧倒的に現介護者が介護不可になったときが多かった。

「民間」においては、本人も家族も「環境の変化」によって、ホームを考える率が「公立」の率を上回った。

(問4 - 2)ホーム利用時期について

(家族) すぐ 5人(3%)（「公立」0%、「民間」4%）

1～5年後 26人(16%)（「公立」12%、「民間」18%）

5～10年 66人(40%)（「公立」45%、「民間」37%）

10～20年 60人(36%)（「公立」33%、「民間」38%）

20年～ 9人(5%)（「公立」10%、「民間」3%）

(支援者)すぐ 6人(4%)（「公立」0%、「民間」7%）

1～5年後 33人(23%)（「公立」12%、「民間」31%）

5～10年 49人(35%)（「公立」44%、「民間」27%）

10～20年 46人(32%)（「公立」34%、「民間」31%）

20年～ 9人(6%)（「公立」10%、「民間」4%）

ホーム利用時期については、「すぐ」および「1～5年後」と答えた方については、再度詳細を把握できるように、「ホーム待機者リストの作成」を検討していきたいと考えている。

(問5 - 1)入所施設利用要因について

(本人)全体で実数15名の回答。

(家族)全体で実数79名の回答。

・本人、家族ともに介護不可になったときが多い。

(問5 - 2)入所時期

(家族) すぐ	3人(4%)	(「公立」6%、「民間」0%)
1～5年後	12人(16%)	(「公立」22%、「民間」0%)
5～10年	30人(39%)	(「公立」38%、「民間」41%)
10～20年	27人(35%)	(「公立」29%、「民間」50%)
20年～	5人(6%)	(「公立」5%、「民間」9%)

(支援者)すぐ	1人(1%)	(「公立」2%、「民間」0%)
1～5年後	16人(22%)	(「公立」24%、「民間」12%)
5～10年	29人(40%)	(「公立」46%、「民間」19%)
10～20年	25人(34%)	(「公立」26%、「民間」63%)
20年～	2人(3%)	(「公立」2%、「民間」6%)

・「公立」の家族は、「すぐ」および「5年以内」に入所を考えているが28%に対し、「民間」は、0%であった。「10年以内に入所を考えている」が、「公立」の家族・支援者共に70%前後に達したのに対し、「民間」の家族・支援者は30～40%であった。家族・本人の年齢によるものや「ホーム」が身近なものではないことが想定される。

(問6)ホーム希望理由

・全体としては、「家庭的である」48%、「今の通所施設に通える」が39%、「自宅や通所事業所に近い」が8%であった。「公立」については、「今の事業所に通える」が52%でトップ。「民間」については、「家庭的である」が52%と高かった。

(問6)ホームへの不安

・全体としては、「利用者同士の相性」が43%、「本人への対応」が40%、「経済的負担」が12%であった。「公立」「民間」共にほぼ同じような比率であった。

(問7)入所希望理由

・全体としては、「安心」が44%、「他に選択肢なし」が40%、「経済的理由」が11%であった。「公立」は、「安心」が47%を占めトップ。「民間」は、「他に選択肢なし」が56%と、消極的な理由から入所を希望する傾向があった。

(問7)入所への不安

・全体としては、「いざという時にはいれない」が58%でトップ。「公立」は、「非家庭的」が6%に対し、「民間」は、25%と高かった。

(問8)一人暮らしの希望理由

・全体としては、「当たり前」が46%、「集団生活が嫌」が33%、「困っていない」が14%であり、「公立」「民間」共にほぼ同じような比率であった。

(問8)一人暮らしの不安

・全体として、「病気」が58%、「経済面」が12%、「家族関係」が11%であり、「公立」「民間」共にほぼ同じような比率であった。

(問9)ホームを体験させたいか。

・「はい」が実数191人で56%（「公立」46%、「民間」67%）

・「いいえ」が実数73人で22%（「公立」29%、「民間」14%）

ここでも「民間」の方がホーム利用を積極的に考えていることが伺えたが、ホーム体験については、「民間」の方が、本人も家族も変化に順応な年齢層が多いことも一因と考えられる。

(問10)ホームの情報を知りたいか。

・全体として「はい」が実数248人で73%、「いいえ」が実数58人で17%であり、「公立」「民間」共にほぼ同じような比率となった。

(問11)入所施設やグループホーム等についてのご意見について

・別紙参照

(問12)身元引受人の有無

・全体として、「いる」が実数234人で62%、「いない」が141人で38%であり、「公立」「民間」共にほぼ同じような比率であった。

(問13)身元引受人の内訳(問12「いる」の方のみ)

・全体として「身内了解」が実数126人で54%、「身内未依頼」が実数103人で43%、「身内以外了解」が実数8人で3%、「身内以外未依頼」が実数1人で3%であり、「公立」「民間」共にほぼ同じような比率であった。

(問14)身元引受人を今後頼める人がいるか。

・全体として「いる」が54%、「いない」が46%であり、「公立」「民間」共にほぼ同じような比率であった。

(問15)成年後見制度について

・全体として、「利用中」が実数15人で4%、「近く利用したい」が実数8人で2%、「将来的に利用したい」が実数233人で66%、「制度を知らない」が実数41人で11%、「利用しない」が実数62人で17%であり、「公立」「民間」共にほぼ同じような比率であった。

<調査結果の活用について>

・調査結果の活用については、今後も「生活支援部会」「相談支援部会」「日中活動連絡会」「グループホーム等連絡協議会」等において協議を重ね、市川市において、「ホーム」を希望する人がホームに入居できるように、また緊急性のある方が優先的に「ホーム」を利用できるようなしくみ作りを進めていきたいと考えている。容易い道ではないので、今後ともぜひ皆様方のご理解ご協力を仰ぎたいと存じます。

大変お忙しい中、本調査にご協力をいただきまして心よりお礼申し上げます。